

あいあいあい I eye 愛

2026 年

9 月号



昨年の Wa! わあ祭りの様子（卸町サンフェスタにて）



今年の Wa! わあ祭りは「あいコープ文化祭」 日の出町センターで楽しもう

Wa! わあ祭り2026実行委員長 櫻井 洋子

まもなく年に一度のお楽しみ、「Wa! わあ祭り」の季節がやってきます。Wa! わあ祭りの始まりは約40年前に遡ります。子どもたちと安全安心なものを食べさせたいと願う大人たちと、ごまかしのない本当にいいものを作りたいと願う生産者、そしてより良い社会を作るため新しい消費者運動を求めている若者たちが出会ってできた、あいコープの前身「仙台共同購入会」。設立から10年の節目に、組合員や生産者に感謝を表そうとお祭りを始めました。ちよつと読みにくい「Wa! わあ祭り」は「わあわあまつり」と読みます。「人と人の輪、人と自然の和」で開くお祭りである、という意味を込めて名付けたそうです。

さて、今年のお祭りは11月7日（土）、会場はなんと!! あいコープみやぎ日の出町センターに決まりました。あいコープを会場にするのは初めてのことで。前例のない今年のお祭りをどう作るのか、「これをしたらどう?」「こうやっ

たらできそうだね!」など、4月からスタートしたお祭り実行委員会にてワクワクしながら準備中です。テーマは「あいコープ文化祭」。組合員の皆さんから募集したあいコープ愛あふれる写真や絵の展示もありますし、ステージ出演も募集します。普段バスちゃんトラックが停まっている駐車場にテントをたて、開放感のある屋外での開催。販売は行わないため、慌ただしくお買い物をするのではなく、試食を頂きながら、ゆっくり生産者とお話しでき、商品の良さを実感していただけるのではないかと思います。生産者のブースだけではなく、あいコープを会場にするからこそできる職員発案の企画も! 組合員と生産者、職員が感謝を伝えあい、「楽しかった! いい一日だった!」と思えるようなお祭りを目指して、実行委員も気合を入れていきます。普段はなかなか訪れる機会のないあいコープ日の出町センターでのお祭りへ是非お越しください!

CONTENTS

- | | | | | | |
|------------------|----|-------------------|------|------------------|----|
| ▶夏の薬膳企画（泉A地区） | …2 | ▶あいコープの「通い箱」とプラ問題 | …4-5 | ▶地域ボランティア活動応援補助金 | …7 |
| ▶資源循環プロジェクト現地確認会 | …3 | ▶コールセンターQ&A | …6 | ▶魚食新報「魚食アンケート」結果 | …8 |

6/24(水)

泉B地区委員会

「夏のやさしい薬膳レッスン」

2月の組合員交流会で大好評だった薬膳講座の第二弾「夏の薬膳」を開催しました。

講師の先生によると、暑さに向かうこの時期は身体をクールダウンするような食材を求めがちですが、冷やし過ぎないよう温かいスープを摂るなどバランスが大事とのこと。「陰」の食材を下、「陽」の食材を上重ねて火にかける「重ね煮」をおさらいしながら、みんなで早速挑戦しました。食べる人の好みを考え、食材の切り方や調味料の加減もグループで相談し、食材の旨味だけで仕上げたスープはバラエティー豊富で美味しくて驚きました。



あいコープで購入できる薬膳料理の食材



重ね煮のレクチャーに参加者は興味津々

お料理後はゆっくり過ごす時間が取れて、試食をしながら賑やかに歓談しました。自宅でもまま通信を眺めているだけだと注文も偏りがちなので、交流の中で得られる情報は貴重だと思います。さて、冬と夏の薬膳講座を終え、次は食欲の秋にちなんだ「食べ過ぎ抑制の薬膳講座」もいいかも!?企画する側もワクワクの講座、次回をどうぞお楽しみに♪

担当理事 辻朗子



陰陽のバランスが取れた夏らしい献立

8/8(土)

石巻地区委員会

夏休み親子企画

「石けんで上靴を洗おう!」

今回の会場は北上川の流れを目前に見る北上川・運河交流館。まず地区委員の紙芝居で、石けんと合成洗剤の違い、汚れの落ちるしくみを学び、水は巡りやがて私たちのもとに帰ってくることを理解しました。

いよいよ上靴洗いの作業です。ビニール袋に、汚れた上靴、PB石けん「さいかち」、酸素系漂白剤を入れ半分の水を注ぎシャカシャカ…しっかりと粉を溶かしました。さらに袋のジッパーをしつかり締め、上靴が浸かる程度の水を入れそのまま炎天下に放置。その間、安全安心な手作り石けんでシャボン玉遊び、竹製の水鉄砲で水遊びなど豊富な内容でした。時間を

置きすすいで見ると、洗い上がりの白さにびっくり。換気扇汚れやおろし金の汚れ落としにも効果的でした。

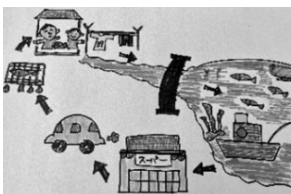
また、毎年7月に全国展開されるシャボン玉月間の行事として、この豊かな大河を次世代につないでいくためにも、来年も石巻地区で石けん企画を行い、石けん生活を広めるきっかけにしたい、地域にも呼びかけた!と活動の構想にも話が及びました。

石けん生活は、人にも環境にも優しく、愛情と科学がいっぱいの豊かな暮らしの本丸だということを再確認しました。

石巻地区委員長 長沼利枝



石けんの良さを学びます



落とした汚れはどこへ…?



おひさまの力でさらに清潔に



生産者・組合員・職員が学びあう資源循環

資源循環型農業推進プロジェクト・現地確認会

宮城県内の産直産地、七郷みつば会、大郷みどり会、はさま自然村、秋保ゆうきの会の4産地とあいコープみやぎが一緒に取り組む「あいコープ資源循環型農業推進プロジェクト」では、23年から地域資源を活かした堆肥作りに取り組んでいます。粃殻やきのこの廃菌床、海藻、米ぬか、醬油かすなどの特性を生かし、微生物の力を借りて良い堆肥をつくるために生産者たちが学び合っています。

活動の一環として、7月10日に大郷とはさま、7月24日に七郷と秋保の畑や田んぼ、それぞれの産地で作っている堆肥を見学する現地確認会を行いました。

2日間で生産者16名、職員6名、理事2名、組合員4名が参加。現地



堆肥を手にする大郷グリーンファーマーズ（大郷町）の熊谷剛介さん



はさま自然村（登米市）の圃場にて

では、人手や時間、保管場所など多くの課題があり、その中で、どんな環境のどんな土で、どんな資材が手に入り、どのように使えるか。日々、生産者の皆さんが良い堆肥を作るために工夫と努力を重ねていることを知りました。

微生物の働きによって発酵する堆肥の温度は約60〜70度に達し、まるで堆肥という生き物を育てているようにも感じました。生産者同士が活発に情報交換する姿も印象的でした。

野菜づくりは自然と向き合うだけでなく、知識や経験、様々な工夫、仲間との学び合いによって支えられていることを実感でき、私にとっても貴重な経験となりました。

商品部商品課 鈴木 美穂

《連載》2025年ビジョンをふり返る

あんな進展・こんな成果

02

「食」はぐくみ

2025年ビジョンのふり振り返り報告
第2回目は「食（はぐくみ）」。あいコープの商品のことや生産者のことなど、組合員の関心も高い分野です。検討会の様子をまとめました。

■持続可能なあいコープを目指し挑戦を重ねた5年間（担当理事より報告）

あいコープミートセンターの建設（21年度）、まんま通信リニューアル、組合員による援農「産地応援隊」の活動スタート（22年度）、県内農産産地と連携した「あいコープ資源循環型農業推進プロジェクト」（23〜25年度）など、事業と活動の両面で大きな挑戦を重ねた5年間でした。

食と農を巡る情勢は年々厳しさを増していますが、より自然で安全な

食を守り育てる活動に引き続き取り組みでいきます。

■検討会での意見（一部）

- ・一般的なあいコープの印象は「高い」「アイテム数が少ない」
- ・一部ではなく多くの組合員が「わかって食べる」が課題。加入したての組合員にどうしたら聞いてもらえるか？
- ・産地を見られる活動は素晴らしい。特にえんのうや産地応援で自分が関わったものはまんま通信でぐつと身近になる。
- ・まんま通信で表紙に掲載されると注文が5〜6倍になる。単独では量を出せない生産者もいるので、他産地と共同で出荷できるのは有難い（生産者）
- ・生産者の後継者問題。本当に食べられなくなる未来が来るんじゃないかという危機感がある。
- ・畜産の国産飼料の取組みはすごいこと。放棄されている農地の活用も考えられるのではないかな。

↓次回は「ゆたかに（環境）」です

副理事長 石井 朱里



あいコープミートセンター
落成記念式典（2021. 10. 4）

ナフサ不足の今考える あいコープの「通い箱」とプラスチック問題

中東情勢により原油の輸入が不安定化し、国内外の製造業や流通業が大きく影響を受け、あらゆる製品の値上げという形で私達の生活にも影を落としています。

あいコープも「脱プラスチック」の理想を掲げているとはいえ、足元を見てみれば、商品包材やお届けに使う袋、シッパー（保冷箱）など、安価なプラスチック製品に依存しているのが現実です。根本的な解決のためには、代替素材の開発・普及や法整備など、社会全体でのシフトが必要ですが、生協として、組合員として今できることを考えてみたいと思います（編集部）。



宅配資材は共有の財産

冷蔵・冷凍商品を配送するための保冷箱（シッパー）や蓄冷剤、カタログ袋などは組合員の中で繰り返し使用する「みんなの共有物」です。発泡スチロールは軽くて保温能力が高く、取り扱いがしやすく、比較的安価であり、代替のものは今のところありません。当然プラスチック製品ですので、脱プラの観点から言えば、長く大切に使い廃棄を減らす（リデュース）ことが大切です。

毎日あいコープに戻ってくるシッパーは、そのまま再使用するもの／洗浄・乾燥して再使用するもの／廃棄するものに仕分けされ、一日に写真のカゴ車でおよそ2台分のシッパーが要洗浄または廃棄に分類されるそうです。廃棄の主な理由は「泥ハネやカビなどの汚れ」「傷や割れ」が多く、猫によるとされるひっかき傷も多くみられるそうです。特に屋外で保管している場合は



シッパーの価格は
1個当たり本体とフタで
約500円！



カゴ車に積まれた洗浄・
廃棄対象のシッパー

紫外線や風雨にさらされて劣化しやすくなります。「できるだけ屋内で保管していただき、乾燥した状態で出してもらえると長持ちします」と庄子裕章セツトセンター長は語ります。

廃棄分は納豆パックなど他の発泡スチロール素材と合わせて熔融機で溶かし、再利用可能な資源として業者へ出荷していますが、コスト面から言ってもできるだけ長く使いたいものです。

また冷凍品などの場合に使われるシッパーの「内蓋」については、洗浄ができないため、これも乾燥させることが大切です。蓄冷剤と一緒にしていると結露でカビやすいため、別々に保管し乾燥していただけと呼びかけています。



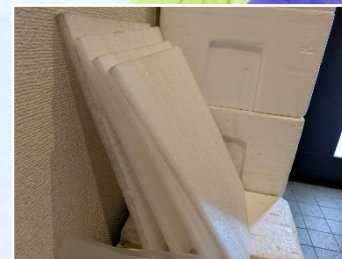
廃棄するシッパーは熔融機（左）に
かけ、上のように固体化して資源と
して出荷します。

次の組合員に気持ちよく受け渡す

配送を通して、あいコープの組合員はつながっています。傷や汚れだけでなく、柔軟剤などの移り香がクレームとして届けられる場合もあります。保管場所や方法について、みんなで少しずつ気をつけるようにすることで、誰もが気持ちよく配送を利用でき、資材も長持ちします。

シッパー等をどうしても屋内に保管できない方は、できるだけ直射日光や風雨にさらされない場所に置いたり、市販の保護カバーを使うなど、工夫していただくと有難いです。

汚れにくい素材に代えるなど、事業側でも資材の見直しを行っていますが、廃棄プラを削減するには組合員一人ひとりの協力が欠かせません。



内蓋にも水分は大敵



蓄冷材に結露は付きものですが、乾かす工夫を

「これはどうなの？」…組合員の声

◆商品がまとめて入ってくる使い捨てのビニール袋（ガゼット袋）がもったいなく感じます。なくせませんか？

ガゼット袋は、不特定多数の組合員が繰り返し使うシッパーに商品が直接触れないように、また配送職員が組合員へ荷物を手渡す場合に、シッパーから袋ごと出してお渡しできるよう導入されています。ナフサ不足の今こそ使い捨てプラ削減のために検討したい部分ではありますが、配送現場との調整とともに、多くの組合員の理解と協力が欠かせません。



洗剤などの生活雑貨もガゼット袋に入っています。
必要？不要？

◆納豆の3連パックを束ねているプラスチックの帯など、商品そのものの包材を減らすことはできないのでしょうか？

商品の包材見直しについては、あいコープ内部だけでなくメーカー側が対応できるかどうか重要です。メーカーによっては新たな機械の導入が必要になったり、逆にコストがかさんでしまう場合もありますが、理事会では絶えず検討を続けていきたいと考えています。脱プラスチックの活動は石けん環境委員会の主管となっていますので、関心のある方はぜひお問合わせください。



石けん環境委員会恒例の「海で
プラごみ拾い」（写真は25年度
の様子）。海岸でのプラごみ拾い
を通してプラスチック問題を考
えます。

記事へのご意見や感想を寄せてください

・右のご意見受付フォーム

・または「まんま通信」裏のれんらくカードを使用し「組合員事務局」宛として出してください。



6/27 NPO 法人とうほく食育実践協会総会

食育コンダクター派遣事業や「本のれすとらん」チラシであいコープ組合員にもなじみの深いNPO 法人とうほく食育実践協会。6月に総会が行われ、25年度事業報告・会計報告と26年度事業計画・予算が承認されました。

役員改選の年に当たり、新理事長に高橋千佳・あいコープみやぎ元理事長が就任されました。来年はNPO 設立20周年を迎えます。近年は活動規模の縮小や食育コンダクター養成講座の受講生の減少が課題となっていますが、新理事長の元、元気に活動を進めてまいります。

担当理事 石井 朱里



新役員メンバー
（全員ではありません）

7/25-26 全国オーガニック給食フォーラム in 小山

7月25～26日、栃木県小山市で第3回目となる全国オーガニック給食フォーラムが開催されました。あいコープでも以前講師としてお招きした「館野かえる農場」の代表、館野寛幸さんの基調講演に始まり、事例報告やパネルディスカッションが続きました。有機給食の推進は、すべての子どもに安全で美味しい給食を食べさせること、そして学校給食という確かな需要により有機農業を安定させる力を持ちます。食べることは生きることだと教える「学校」を中心に据え、循環型農業を拓けるこの取り組みを、宮城でも進めていきたいと感じました。

理事長 鈴木真奈美



基調講演の会場は満員

わだいの
たねまき





2026 年
夏

Q. 届いた野菜が黄色くなっていたり、傷んでいることがあります。

A. 残念な思いをさせてしまい大変申し訳ありません。産直野菜や果物など青果のお届けに当たっては、セットセンターでの検品と配送職員による目視で鮮度を確認していますが、チェック漏れや、お届け後の保管環境によっては痛みが発生する場合があります。また、産地においても夏場は高温や渇水、大雨、病虫害等が発生しやすく、減農薬・無農薬での栽培が年々難しくなっている品目もあります。見た目だけの問題である場合は、組合員の皆さまへご理解を求める場合があります。

お気づきの点はコールセンターへお申し出いただくとともに、置き配の場所や長時間の放置に気をつけていただくなど、ご協力をよろしくお願いいたします。(理事会)

あいコープコールセンター(0120-255-044)やまんま通信裏表紙の「れんらくカード」に日々寄せられる組合員の声の中から、多くの組合員に知っていただきたい情報などを Q&A 形式で発信します。

Q. バレンシアオレンジの中身がパサパサで美味しくありませんでした。

A. バレンシアオレンジは、実をつけたまま冬を越して、春に収穫を迎えます。この間、強い寒波に見舞われると凍結してしまい中身がスカスカになってしまいます。出荷産地のジョイファーム小田原では、今年2月にこれまで経験したことのない氷点下の寒波と積雪に見舞われました。外観からは被害が判断できないため、産地でもテストカット(いくつか果実をカットして中身を確認する)をするなど状況を確認した上で、被害が大きな圃場からは出荷を控える等の対応を行いました。しかし、予想以上に被害果が発生してしまい、ご迷惑をおかけいたしました。来年以降は、今年の経験を踏まえ対応を強化してまいります。(商品課)

この他にも、美味しかった商品の感想や、生産者や職員への感謝の声、組合員活動の企画への要望や感想などもコールセンターに寄せられており、励みになっています。よりよいあいコープのため、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

今までのパスちゃんヨーグルトと同様、ながめやま牧場(山形県)の放牧酪農牛乳を100%使用し、そのまま食べやすい加糖タイプに仕上げました。組合員による試食でもあつさりした優しい味わいが好評で、初回は約1000点の注文があり、嬉しいことに既存のパスちゃんヨーグルトの注文が落ちることもありませんでした。価格を維持するためには週に1500個の製造が必要とのことなので、毎回500点以上の共同購入を目指します。ぜひご愛顧ください。

また、この個食ヨーグルトの紙パックは、既存のパスちゃんヨーグルトや牛乳パックと同様にあいコープで回収します。中をきれいに洗って乾かし、配送日に出してくださいね。

副理事長 石井 朱里



貴重な放牧酪農牛乳を組合員みんなで飲み切るため、開発を進めてきた加糖タイプのパスちゃんヨーグルト(個食)がついにデビューしました！

個食パックのパスちゃんヨーグルト(加糖)がデビュー!!

月刊 P B
ブライベートブランド

9月号

■ 8月号の組織概要(6月分)の数字に誤りがありました。お詫びして訂正します。

【出資金】
誤：146,435 千円
正：1,464,359 千円

組織概要 (2026年7月分)

【組合員数】 20,592 名
【供給高】 289,887 千円
【一人実利用高】 5,928 円/週
【出資金】 1,469,473 千円

2026年8月4日(火)
▼(増築計画)佐藤ビルの管理委託契約締結について承認した▼(増築計画)11ビル入居者の退去に関する覚書締結について承認した▼2026年度委員会予算について承認した▼マイクロプラスチックシンポジウム及び脱原発アクション協賛金について承認した▼青山医師講演会企画案を承認した▼熊本地震緊急カンパ、あさこはうす応援カンパについて承認した。

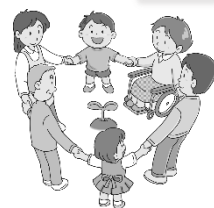
理事会議事録抄



●産地での作業をしてみないとわからないことがあると実感した。組合員が同じゴールを目指し作業することで一体感が生まれるすばらしい活動だと思う。(25年度産地応援隊懇親会 グループワーク意見より)

誰もが安心して暮らせる社会を

組合員による地域でのボランティア活動を応援します



ジョイケアシステムが実施している「地域づくりボランティア活動応援補助金」制度も今年で4年目となりました。これは、規模が小さくても、人と人が助け合う心豊かな地域づくりに貢献している活動をジョイケアシステムが支援する制度です。募集は20団体、支給額は一万円です。

昨年支給した、環境保全活動をされている「MOTHER EARTH仙台」さんからは、持続可能な農業、食のあり方、生き方をテーマとした映画の上映会に活用し、「食と暮らしがつながる場づくりができた」と感謝の言葉が寄せられました。ほかにも障がいのあるお子さんの集う会に手弁当で来てくれる協力者へ交通費を出すことができた、子どもの自主性を育むイベントの材料費に使わせていただいた、など、組合員のみなさんからの大切な100円が、小さくても意義のある活動への大きな支援となっています。

今年度の募集は先月で締め切り、現在書類審査・面談審査に進んでいます。今年は15団体より応募がありました。子育て支援、高齢者支援、障がい者支援など、みなさん様々に活躍されており、審査



25年度活動報告より
(MOTHER EARTH 仙台さん)

理事 櫻井 洋子

私のオススメ商品



私がお勧めする商品は、我が家でもいろんな料理に活用しているタンポポ村の「スモークサーモン」です。

鮮やかなオレンジ色が食欲をそそり、サラダの色どりを豊かにしてくれます。また、誕生日などのイベントには刻んだナッツと、細かくカットしたスモークサーモンをクリームチーズで混ぜ合わせて、カナッペにして食べています。お酒との相性も抜群です。普段使いから特別なシチュエーションまで大活躍してくれます。是非お試しください！

事業部 供給課 青木 純

編集後記

8月号から編集部仲間入りました藤田です。魚プロメンバーでもあるのですが、今回の魚食アンケートから「幼少期の体験がその後の成長に」という気付きがあり、来し方を振り返ることにしました。家族新聞を作っていたこと、よくある通販講座で文章校正の資格取得を試みたこと。好きなことが繋がり広がることは嬉しいものです。これからよろしくお願いします。

理事 藤田 紀子

委員さん募集中！

あいコープの仲間と
食のこと
環境のこと
一緒に話しませんか？

お問い合わせ先
☎ 0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email i-kumikatsu@mamma.coop
(担当：組合員事務局)



ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔/出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2026年7月分)

ささえあい(保障)	0件	
たすけあい(ケア)	25件	(ケア時間 合計44時間)
集団託児	3件	(利用延べ人数 5名)
慶弔	4件	(出産祝い2件 お悔やみ2件)
電話相談	10件	(キャンセル除く相談実施件数)
計	42件	

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケアへ

☎ 0120-50-7277 平日9:00~17:00

年金相談・10/20(火) 社会保険労務士 清野道子氏

13:30~15:30

法律相談・10/13(火)、10/21(水) 弁護士 倉林千枝子氏

13:30~15:30

子ども相談・10/22(木) 宮城教育大学准教授 三科聡子氏

10:30~12:30

*介護相談は相談日のご希望を伺います。

介護相談 (ケアプラセンター木もれび 山崎彰子氏)

▼随時受付可能です。各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●薬膳と聞いて興味はあるものの、なかなか一歩が出ないところでしたが、今日いろいろ教えていただき、とてもためになりました。塩麹にさっそく挑戦します(泉B「夏のやさしい薬膳レッスン」参加者感想より)

魚食アンケート ＜ 結果報告 ＞

組合員さんにもっとお魚を食べてほしい！魚食をもっと広めたい！
魚プロの活動をさらにより良いものにするためアンケートをとりました。
※回答数 104 件 回答期間：5/25(月)～6/30(火)
(魚食新報第三拾一号に掲載)

Q.お魚料理は好きですか？

好き 98%

嫌い・苦手 2%



生まれ育った環境(地域・家族)
幼少期の体験・経験

キーワード発見！

- ・実家が海苔業者や船外機の機械修理屋。幼い頃から水産物が身近にあった。
- ・漁師町育ち、網元の娘である祖母からイカの捌き方やサバの三枚下ろしを習った。
- ・釣り好きな父は自分で投網を編んでいた。母もサンマを一夜干したり、鮭を塩漬けし弁当のおかずに使っていた。
- ・小学生の頃、調理実習でサンマを捌いてつみれ汁を作ったことで魚への苦手意識がなくなった。
- ・釣りに行き、その場で捌いて食べるのがうまい。



嫌い・
苦手な理由

- ✓ 骨取りが面倒 30%
- ✓ 生臭い 25%
- ✓ その他：調理しにくい
ご飯のおかずにならない

- ・給食で出たウナギの骨が喉に刺さり、娘はその後、ウナギを食べなくなった。
- ・子どもの頃、小骨が喉に刺さって痛かった。今でも魚を食べる時はドキドキ。
- ・焼き魚を食べるのが下手＆においが部屋に付くのが苦手。
- ・家族は、骨があるのを嫌がり食べないので、1人の時に堪能している。
- ・高齢になったので骨取り済みの商品は助かる。

Q.週に何回、お魚料理を食べますか？

0～3 回： 57 名

4～6 回： 34 名

7回以上： 2名



Q.お魚を使ったおススメ献立は？

- ▶ 干物に切り目を入れ数分茹で、野菜＋ポン酢。
- ▶ 干物アクアパッツァ：たっぷりの野菜の上に干物を乗せて蒸し焼き。
- ▶ 鮭またはタラのホイル焼き：塩こしょう＋きのこ＋マヨネーズまたはバター。オーブンで焼き、レモンを添える。
- ▶ えびしんじょを使った春巻きや八宝菜。
- ▶ 鯖缶＋具だくさん味噌汁。料理苦手や1人暮らしには楽！

次回以降の号でもご紹介します

～アンケート集計を終えて～

幼少期にどれだけ魚に触れてきたかが大人になってからの食生活に影響すると考察できました。今後は、親子でのお魚イベントなど、お子さんが楽しみながら学べる機会を検討します。(魚プロ)



魚食アンケートで人気のあった あいコープ水産品をご紹介します



丹野商店
【甘塩・紅鮭】
【銀たらミリン漬】



間宮商店
【近海マサバ
ふくら醤油干し】



高橋徳治商店
【バクバク
なぎょっと】



角屋食品
【境港でつった
アジフライ】

以下も、今回たくさんの方からご愛用いただきました
(休止中の商品は除外)

- 丸友しまか【鮮魚セット】 ●丸壽阿部商店【唐桑産わかめ】
- 無茶々園【ちりめんじゃこ】 ●マストミ【つぶつぶまぐろ丼】



※魚プロ認証マーク：産地・品質・美味しさにこだわった魚プロおススメの商品。原材料確認、市販品との比較等を行う認証会後、あいコープ理事会で承認されます。

魚食新報

第三拾二号

「魚」は、未来
～持続可能な
水産へ～



日本は豊かな漁場に恵まれています。魚食プロジェクト(以下、魚プロ)は、魚の魅力を伝えられる商品作りや海にまつわる情報提供でお魚好きな組合員さんを増やすための組合員活動です。

今後の予定

11/19
木

社会福祉法人みんなの輪 “みんなの輪”事業所見学会

場所／パン工房わ・は・わ、グループホームあい

時間／10：00～12：00 (現地集合・解散)

参加費／無料 定員／20 名

※詳しくは今後配布されるチラシまたはあいコープみやぎ HP のイベントカレンダーをご確認ください。

9/11
金

令和 8 年熊本地震支援金 〆切間近！

(現金での寄付)

申込番号 000804 (500 円/1 口)

申込番号 000805 (1000 円/1 口)

(ポイントでの寄付)

申込番号 222804 (500 円/1 口)

申込番号 222805 (1000 円/1 口)

※9月3回の注文まで、注文書またはネット注文で受け付けます。



11/7
土

Wa!わ祭り -2026-

今年はいつもと違うお祭り！
テーマは「あいコープ文化祭」

場所／あいコープみやぎ日の出町センター (屋外開催)

時間／11：00～14：00 参加費／小学生以上 500 円

あいコープみやぎは女川原発の稼働停止と
核燃料の乾式貯蔵施設建設中止を求めます

女川原発の 再・再稼働から

2024年10月29日再稼働し
不具合による停止を経て11月
13日に再稼働しています

626 日目

早く
停止を

2026 年 8 月 1 日現在